

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子：やさしいっばい かしこい子：かいいばい たくましい子：やる気いっばい ～



和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和5年10月27日(金)

11月号 発行者 池田 誠

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ：<https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール：wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数 160名

秋が深まりゆく中で

校長 池田 誠

正門正面にある金木犀の花は、今年も満開となりました。甘いよい香りを学校全体に届けていました。この香りに包まれ、暑さも和らいだ各教室では、よく考えようとする姿が見られたり、きれいな歌声が響いたりしていました。

さて、10月17日(火)には、本校で、令和5年度第54回小学校体育授業研究会を開催しました。さいたま市教育委員会教育長をはじめ、市内より100名を超える教員にご参会いただきました。4年生「跳び箱運動」、5年生「タグラグビー」の授業を公開しました。児童は、たいへん多くの参会者に動きや友達とのやり取りを参観されていたので、緊張した面持ちでしたが、授業に最後まで集中し、普段と同じように一生懸命に運動していました。そのあとの協議会では、技能を高め、「できた喜び」や「またやってみたいという思い」をもたせるような体育の指導方法について、出席した教員同士が公開した授業を踏まえながら、活発な協議を重ねていました。

体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっています。豊かな人間性や自ら学び、自ら考える力といった「生きる力」の重要な要素にもなるものです。この研究会を通して学んだことを生かして一層指導力を向上させ、「体力の向上」や「運動の楽しさや喜びを味わう経験」の充実に努めていきます。保護者の皆様には、開催に向けてご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

10月6日(金)には、学校近くの田んぼにて、農家の方々のご指導の下、5年生が稲刈り体験をしました。今年も黄金色に輝く稲を一株ずつ鎌で刈る活動を通して、収穫の喜びを味わわせていただきました。また、収穫したお米の一部を、給食用にも提供してくださいました。7日(土)には、青少年育成会和土地区会と和土地区社会福祉協議会の共催による「いもほり大会」もありました。和土小学校と城南小学校の児童は、自分の顔より大きく実ったサツマイモを笑顔で掘ることができました。その姿に役員の方は、「今年も大きなサツマイモを届けられて、よかった。」と話されていました。そして、8日(日)には、本校校庭で、和土地区体育振興会の主催による「和土地区運動会」が開催されました。自治会の代表として児童も多数参加しており、ご家族や地域の皆様と楽しそうに過ごしながら、汗を流す姿が見られ、嬉しい限りでした。

地域の皆様に、今月も和土っ子が大変お世話になりました。今後も地域の宝である和土っ子を一緒に育てていきたいと考えています。

結びに、寒暖の差が大きい日が多くなってきました。保護者、地域の皆様におかれましても、身近な秋の深まりを感じながら、心穏やかに過ごされることを願っております。



【甘いよい香りがした金木犀】

☆☆ 和土小の150年、そして未来へ ☆☆

【校章】

○由来

- ・「菊の葉と花」を図案化したものである。菊は春の桜と共に日本を代表する花である。平和と文化を表す花でもある。「和する土地」をイメージして菊を校章に定めたものと思われる。

○制定

- ・校章の制定については残念ながら不明である。学校にある資料をいろいろと調べてみると、大正13年頃と考えられる。
- ・大正14年1月 校舎落成を記念して配布した「盃」に校章が描かれている。



【校長室の掲出資料より】